

2009年8月25日 No. 98

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤一郎

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL03-3434-1236 FAX03-3433-0334

URL: http://www.nugw.jp

全国一般全国協

第19回定期全国大会を成功させよう！ 中小・非正規労働者の怒りを束ね、貧困と格差社会のチェンジを！



第19回定期大会が9月12〜13日の日程で開催されます。今大会は大きな歴史の曲がり角の中で開催される重要な大会になると思います。私たち全国一般全国協の新たな発展のための方向付けを決定する大会としなければなりません。

今、屋外では総選挙に立候補した候補者の宣伝カーが行き交っている。この総選挙によって、長年続いてきた自公政権が崩壊し、野党に取って代わられると言われている。『政権選択』の選挙となっています。自公政権は確実に敗北させなければなりません。

新自由主義・グローバルゼーションが世界を席巻し、「貧困と格差社会」が世界を覆い尽くした。ヘッジ・ファンドを駆使したカジノ資本主義によって、極めて一部の者に巨額の富を集中させ、一方、途上国の国民

経済は破壊され、最貧国では飢餓が拡大の一途を辿ってきた。先進国内にあって「貧困・格差」問題は看過することができない社会問題になってきました。日本では小泉構造改革によって労働法制、セーフティネット、社会福祉、公共サービスが破壊され、自殺者は年間3万人を常時超える事態となっています。

しかし、こうした時代は長く続くものではありません。08年、カジノ資本主義、市場原理による新自由主義経済はサブプライムローンという、アメリカの低所得者をローンも返せないほどに貧乏に追いやった結果、一度にそのシステムは崩壊し、金融危機を招来したのです。金融危機はグローバルゼーションの下で、世界経済を一気に破壊し、世界大不況となって現出させました。世界の労働者は失業とワーキングプアと呼ばれ

るような、働いても生活に必要な賃金を得ることができない状況に陥り、日本でも失業率は5・4%と最悪の事態に迫るまでに悪化しています。「派遣切り」によって22万人の労働者が一度に職を失い、多くの派遣労働者は寮から追い出され住処も失ってしまいました。非正規雇用労働者は1700万人に上り、全労働者の三分の一となっています。

私たちは全国一般全国協は中小零細企業で働く労働者、非正規労働者の怒りを真正面から受け止めて闘いを作り出してきました。今こそ、彼ら仲間も自らの手で、闘いに立ち上がり、権利を獲得すること、労働組合に結集して日常活動の中から未来を切り開く手だてを獲得することが重要だと思えます。労働者の権利の拡大は労働組合の発展に結びつか

第19回 定期全国大会

日時／2009年9月12日(土) 13:00から
同 13日(日) 12:00まで

会場／曳舟文化センター 2Fホール
東京都墨田区京島 1-38-11
TEL 03-3616-3951

第3回中島賞授賞式に 市民170人が出席

「過労死をなくそう！龍基金」

8月9日、過労死の撲滅に取り組んでいる「過労死をなくそう！龍基金」の第3回中島賞授賞は、すかいらーく過労死遺族の前沢笑美子さんが受賞した。東京葛飾シムフォニーホールの場合には市民170人が出席した。

選考委員で評論家の佐高信さんが今年の受賞者を発表、「勝つことがあまりない私たちの闘いで前沢さんの解決は貴重な例だ」と話した。前沢さんの長男隆之さんはすかいらーくで契約店長という1年単位の契約を繰り返し非正規の店長として過労死に追い込まれた。母親の笑美子さんは全国一般東京東部労組とともに会社と闘い今年5月に遺族側の主張を全面的に認めさせる内容で解決を果たした。授賞式で前沢さんは「すかいらーくは中島さんが過労死した際に『二度と起こさない』と言っていたのに本



7-21

裁判勝利報告集会

宮城合同労働組合



7月21日、みやぎ婦人会館で洋服の青山小泉さん・西部交通の杉本さん・京電工高須さん・ギフトプラザ高橋さんの争議の勝利解決を記念した報告・慰労会と争議中のパナソニック電工佐藤さん・わかば第一交通穴戸さん・浅羽製作所桜井さん内外エレクトロニクス組合員10名の激励会が合同で開かれました。

争議はいずれも実質的な勝利和解となっており、各原告も満足のいく内容で

た。

当日は小雨模様にもかかわらず50名を超える参加者が集まり、会場となった会議室は熱気で冷房が効かないほどでした。

顧問の馬場弁護士、館脇弁護士から雇用状況の悪化や本係争が世間に及ぼす影響などが話されました。パナソニック電工佐藤さんらの争議も必ず勝利させ、これからもこのような晴れやかな報告・慰労会が開けるように、活動に取り組んでいきたいと思えます。

(安斎和明)

7-5

きょうとユニオン 20周年記念集会

きょうとユニオンの結成20周年を記念する集会が7月5日にキャンパスプラザ京都で開かれました。中岡委員長の挨拶に引き続き、玉井書記長の解説できょうとユニオンの20年のあゆみを写真とともに振り返りました。

第1部のメインは東京東部労組石川源嗣副委員長の記念講演。東京東部労組では、約120人のNPOのボランティアと6人の専任によって労働相談と争議の体制が組まれており、60を超える職場支部が組織されている。このような体制を維持していくための

第2部はレセプション。尺八演奏、労働歌、チャンク(朝鮮・韓国の打楽器)



の演奏があり、会場は一気に賑やかなものとなりました。きょうとユニオンからの出し物ほどじょうすくい踊り。会場が大いに沸き上がりました。全国から、地域から100人を超える仲間が駆けつけてくださり、きょうとユニオンにとって今後の発展のための大きな励ましになりました。

韓国・双竜自動車労組の大量リストライク反対闘争

国際連帯支援のカンパに取り組もう！

2400名の整理解雇反対闘争を、 占拠ストライキ77日、 煙突高空籠城88日、 公権力全面投入10日を闘い抜く

双竜自動車労組は、大量整理解雇撤回を求めて、2ヶ月半に及ぶ占拠ストライキを闘い抜いてきた。

これに対し、双竜資本とイミョンバク政権は、労働組合解体を最大の目標とし、交渉をいたずらに引き延ばし、決裂させ、警察特殊部隊を含む公権力を投入し、物理的に組合を屈服させようと攻撃を繰り返してきま



だし、煙突高空籠城の組合員3人が墜落し、一人は脊椎が折れる重傷をおいしました。そして、これらが人への薬をはじめ、食料、水の差し入れを拒否し、水道電気を止めるという暴挙を加えました。

ねばり強く闘ってきた双竜自動車労組と金属連盟、民主労総は、8月6日、これ以上の「大惨事」を防ぐ決断をし、「一部整理解雇を受け入れる労使合意」を行い、占拠ストライキを解きました。

しかし、会社は、早くも「非解雇者」でストライキに参加した者に対し、休業命令を出すなど攻撃の手をゆるめてはけません。

この争議の中で命を絶った6名の組合員家族や多くの負傷者の救援と、今後継続する闘いの支援を含め、「支援カンパ」を全力で取り組むことを訴えます。

カトレア争議が解決、 中国人研修生が帰国



で研修生問題を扱っている小野寺弁護士に、「外国人研修生問題と入管法改定」について講演していただいた。また、中国人研修生のカトレアでの闘いを収めたDVDを上映し、研修生の女性2名がアピールしました。

7月5日、「外国人権利ネットワーク・北九州」の第2回総会が開催され、約50名が参加しました。熊本

大鵬薬品労組元委員長「北野さん」の 門出を祝う会盛大に開催される

徳島市で7月25日、北野静雄氏の定年退職（会社35年、組合運動28年）で、更に頑張ってもらおうと、100人以上の参加者で「祝う会」が開催された。彼は自社医薬品のデータ隠し事件を期に「労働条件の改善と反薬害」を旗印に労働組合を結成した人物だ。11年の長期争議に勝利し、現在も活動中。全国協からは中岡基明委員長と遠藤一郎書記



長が東京から駆けつけた。入場が「ひよっこりひよろたん島」で退場が「月光仮面」の曲（ただし踊りはなし）。家族（妻と3人の子供）生バンド演奏で「岬めぐり」など熱唱、ハンドベル仲間との演奏が好印象を与えたが、彼は東海林太郎の如く緊張し、何時もの酔払いではなかった。妻の久美子さんとお礼の挨拶の中、幼いころ亡父が加盟していた労

れたのが、本年1月27日でした。これ以来、組合に加盟して、カトレアおよび第1次受け入れ機関「人材創造事業協同組合」と交渉を始め、また、中国の送り出し機関への保証金の返還と、架空の借金の借用書の破棄を求め、領事館および送り出し機関、入管との交渉も行いました。

カトレアは、数度の交渉を行った後、熊本の研修生問題を扱っている悪名高い弁護士を雇い入れ、その後の組合との交渉を拒否し続けました。膠着状態の中、6月20日には、4名が保証金返還と架空借用書の破棄で「和解」し帰国しました。

7月11日の労働委員会の和解協議で団交開催に追い込まれた会社は、送り出し機関を通じて争議解決の打診を行ってきました。残った2名と協議し、「家族のもとに早く帰りたい」との意向を優先して会社と和解し解決することとなりました。7月21日権利ネット定例会で当該の報告・挨拶があり、お別れ会のと、翌22日下関フェリーで帰国しました。（ユニオン北九州）